

# 直小だより

## 6月号



電話・Fax 0768(82)0313  
E-mail [tada-01@city.suzu.ishikawa.jp](mailto:tada-01@city.suzu.ishikawa.jp)  
URL <http://cms1.ishikawa-ed.jp/~tadaxe/>

私の家は米作り農家でした。一番多い時で3町歩あまりの田んぼがありました。田植えは米作り農家にとって稲刈りと並ぶ一大イベントです。沢山の人の手伝いに来てもらっており、多い時には30人に手伝いを頼んでいました。朝暗い内から、父は苗を植える目印をつけるために、六角棒を転がし、母は、苗床から苗を取り、田植えに備えていました。長男である私は、小学生の時から手伝いに行きました。主な仕事は、苗投げでした。私の地域は前進しながら苗を植えます。田植えをする人は、皆腰に苗を入れる籠をつけてはいましたが、長い田んぼになると、途中で苗がなくなります。そこで私の出番です。「あんちゃーん、苗くださいま〜」の声がかかると、その人がいる位置めがけて、思い切り苗を投げます。ところが、いつもうまく届くわけではなく、あさっての方向に行くことも少なくありませんでした。しかし、手伝いの方々は笑って許して下さり、あさっての方向にいった苗を拾いに行ってくれました。それがとても申し訳なく、投げる私も真剣そのものでした。お昼は、お手伝いの方々とともに、納屋の中で車座になって食べました。冷凍食品などない時代で、おかずを用意するのも大変だったでしょうが、祖母は、手伝いの方々のために出来る限りのもてなしをしていました。自分で採ってきた蒟やタケノコの煮物、そしてわが家は漁業もやっていたので、朝獲ってきた魚(クロダイや鱈)を焼いて振る舞いました。皆喜んで食べてくれたそうです。私は、手伝いの方々と一緒に食べるというのが、何か自分が一人前になったような気がして、どこか嬉しかったことを覚えています。大勢のお手伝いの方々のおかげで、何もなかった田んぼに、整然と緑の苗が植えられた様子は、壮観で、何とも言えない景色でした。しかし、多くの方に手伝いに来てもらわなければならなかった田植えも、時代と共に変化します。田植え機の登場です。人の手の何倍もの能力をもつ田植え機は、手伝いの手の多くを必要としなくなりました。私の仕事も変わりました。苗投げではなく、苗運びとなったのです。父が動かす田植え機に苗箱を運ぶのです。その内、田植え機を任されるようになりました。しかし、乗用式ではなく、手押し式だったこともあってか、真つすぐ植えるのが本当に難しく、私が植えると見事にガタガタになりました。「目の前ではなく遠くの方を見ながら操作するんや」という父のアドバイスを守りつつも、やっぱり曲がりました。しかし、植え終わった後の壮観な景色は相変わらずであり、疲れを吹き飛ばしてくれました。私は農業を継がなかったので、米作りを担う両親の体力の衰えと共に、わが家の田んぼは年々減っていき、また、母の怪我也あって、とうとう4年前に米作りをすべてやめました。今から思い返しても、途中からかなりの部分が機械化されてきたとはいえ、米作りは大変な重労働であったと思います。そのことがいやというほど染み込んでいるはずなのに、母は、田んぼをやめてから、何度もこう言います。「あ〜、田んぼ見ると涙出てくるわいや〜」。やっぱり米を作りたいのです。米作りにかかわりたいのです。実は私も同じです。休みの度に手伝わされ、農家に生まれたことを残念に思った時期もあったのに、全く米作りにかかわれなくなった今、苗の植えられた田んぼや、苗を運んだ軽トラックを見ると、何だかとても懐かしくなります。本校では、例年、4年生の威勢の良い田植え唄の応援のもと、5・6年生が田植え体験を行っています。6年生女子は早乙女姿、6年生男子は法被姿です。子供達はとっても楽しそうです。地域に脈々と受け継がれてきた米作りや田植え唄には、一言では言い表せないぐらい、沢山の先達の方々の思いが詰まっているはずです。こういった体験をすることは、単に技術の伝承だけではなく、先達の様々な思いも受け継ぐことになると思います。体験には、地域の方々のご協力が欠かせません。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

令和5年5月24日

珠洲市立直小学校長 道端 専次

## 授業参観・学級懇談・PTA総会・PTA専門委員会(4/28)

4月28日(金)今年度第1回目の授業参観が行われました。久しぶりに制限をなくし、参観される多くの方に教室に入って見ていただきました。初めての1年生だけでなく、どの児童も心地よい緊張感の中、一生懸命授業に向かっていました。PTA総会では、今年度の活動計画案について承認をいただきました。また、新たにPTA会員になられた7名の方の紹介も行われました。温かい雰囲気ですスタートを切ることができました。



1年生



2年生



たんぼぼ



3年生



4年生



5・6年生



令和4年度の大野会長の挨拶で始まったPTA総会の様子



令和4年度の活動報告等が終わり、新役員さんに交代しました。新役員の紹介後、令和5年度の活動計画案の協議を行いました。1年間、よろしくをお願いします。

新会員の7名の方の紹介の様子

## 米づくり体験農園事業

## 田植え体験(5/17)

今年度も、いしかわ田んぼの学校米づくり体験農園事業を行っています。事業の一環として、当毛さん(杉ノ木地区)が所有する学校田での田植えを行いました。

開会式では、田植え唄指導をお願いしている池谷内さん、農事法人組合「きずな」代表の桶田さん、JAすずの坂本さんから「気持ちを込めて田植え唄を歌い、豊作を願って植えてほしい。」という激励のお言葉をいただきました。6年生女子3名は「早乙女」の着物を、男子4名は「立ち男」の法被を身にまとい、5年生と一緒に苗を植えました。池谷内さんから3回にわたり指導を受け、自信をもって歌えるようになった4年生は、豊作への願いを込めた田植え唄を大きな声で繰り返し歌い、田で精一杯の仕事をする5・6年生に大きな力をくれました。学校田を整備していただいた桶田様をはじめとする農事組合法人「きずな」の皆様、唄の指導や衣装の準備・着付けをしてくださった池谷内様をはじめ郷土民謡研究会の皆様、足を運んで参観・応援していただいた地域、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

### 4年生 <須磨 聖志郎>

今日、田植えでぼくたちは田植え唄を歌いました。田植え唄は池谷内さんからならってずっと練習してきました。そして本番で大きな声で田植え唄を歌えたと、5・6年生におうえんもできたのでよかったです。あと、みんなも大きな声で田植え唄を歌っていたのでいいと思いました。来年はぼくたちが田植えを初めてするからきんちょうするけど、なえの植え方をおけださんにならって、来年は楽しく田植えをしたいです。

### 6年生 <八百市 兼生>

4年生の田植え唄を聞いて懐かしいと思いました。そして、元気が出て田植えの集中力が上がった気がしました。田植えで、自分ががんばったことはクワで土をほぐしたり、なえをしっかり植えたりしたこと。自分たちは最後の田植えだったので、楽しく終わってよかったです。あと地震で田植えがなくなったかと思って、不安があったけど田植えができて本当に良かったです。そして、1年ぶりに田んぼに入って田んぼの感触は、気持ちよかったです。あと初めてクワを持ったし、初めてクワで耕したから、最初はドキドキしたけれど、意外と簡単だったのでドキドキはなくなりました。

## 運動会 (5/20)

令和5年度直小運動会が開催されました。2週間の練習期間、子ども達は自主的にダンスや縦割り班競技等の練習に熱心に取り組み、迎えた本番でした。今年度は保護者の皆様にも綱引きとリレーに参加していただきました。自分たちの種目に一生懸命取り組むだけでなく、保護者の皆様の力強い綱引きや高学年と対戦するリレーを見て、「がんばれ！」と声を張り上げて応援していました。午前中に12種目を行うという大変なスケジュールでしたが、初めての1年生も最後まで頑張ることができました。そして、3年生から6年生は、種目の演技だけでなく、それぞれ係の仕事があります。自らの仕事に責任をもって最後まで取り組みました。6年生も7人という少ない人数ですが、スローガンの「笑タイム」を意識し、常に笑顔で頑張っていました。こうしたやりきった経験が子ども達の成長につながっています。来賓・保護者の皆様方、最後までご参観いただきありがとうございました。また、事前のテント設置や、早朝の準備、競技への参加、片付けとご協力いただいた三役をはじめ学級委員の皆様、保護者の皆様ありがとうございました。

スローガン『笑タイム 直っ子みんなが ヒーローだ!』  
(3年 松原 大樹 さん 作)

1年生<瀬戸谷 徹人>

ぼくが、うんどうかいでたのしかったのは、80メートルそうです。1いになれたからです。

5年生<山根 奏仁>

僕は、運動会で思ったことが2つあります。1つ目は、「初めて」ということです。僕は今年の運動会で班をまとめたり、二人三脚でアンカーになったり片付けをしたりしてきました。今までは「疲れたー」で終わっていたけど今回は「楽しかった」と思えました。2つ目は「目標達成」ということです。なぜかという、「二人三脚で、息を合わせてゴールする」という目標が達成できて見事二人三脚で一位を取れたので嬉しかったです。もう1つ理由があります。それは一位を取れてよかったということです。今年、6年生にとっては最後の運動会なのでいつも同じ教室にいる結翔くんや、莉那ちゃんに思い出に残るように楽しく1位になってほしいと思ったからです。来年も楽しく、1位を取るぞ！

6年生<中村 友就>

僕は、運動会で1位を取りたかったけど2位だったので少し残念でした。でも3位になった2班の気持ちになってみると僕たち6年生は、最後の運動会なのに2位だったのでまだいいほうです。最後2班のかんじくんは、泣いてしまいました。けど最後の最後まで頑張っていたのでいいと思いました。僕は、本番に強い方なのですが、やっぱり100メートル走では負けてしまいました。障害物リレーや玉入れなどで1位を取れました。これも杏菜さんからもらったやる気のおかげです。(杏菜さんがクラスみんなにやる気カードを作ってきてくれました)そして最後に全員リレーをしました。予行練習通りAチームは3位だったけど、Bチームは1位を取っていたので嬉しかったです。ただ一番嬉しかったことは、選手宣誓ではっきりと言えたことです。最後の運動会で少し悲しいけど最後まで笑顔で楽しかったです。



## 防犯教室 (不審者対応) (5/12)

5月12日(金)に防犯教室を行いました。珠洲警察署の方に「いかのおすし」を教えてくださいました。それから、実技訓練で不審者に会った時、どう逃げるか練習しました。また、DVDを視聴し、ロケットダッシュの方法なども学習しました。



2年生 <藪下 紗愛>

2年生みんなで、ぼうはんブザーをならしてにげることができたのでうれしかったです。

4年生 <井田 朋花>

今日は、けいさつの人から、「いかのおすし」のことで、ふしんしゃのとくちょうなどたくさんの自分の命にとって大切なことを教えてくださいました。その後に、ふしんしゃに会ったらどうするかのDVDを見ました。防犯教室はすごく大切だと知りました。

## かたつむりさんによる読み聞かせ

毎月、第2・4木曜日の朝、かたつむりの皆様に読み聞かせを行っていただいています。11日(木)は、今年度の第1回目が行われました。子ども達は、かたつむりさんのお話を楽しみにしています。今年度もよろしく願いいたします。



## 人権の花運動 (5/24)

昭和57年度から実施されている運動で、子ども達が協力し花を育てることによって生命の尊さを実施し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的としたものです。今年度は、直小が実施します。人権擁護委員の皆さんのご指導を受け、3年生から6年生が花を植えました。これから、大事に育てていきます。



☆ありがとうございました！！

□成之坊佳子さん

授業参観に、お花を飾っていただきました。

□鎌崎進二さん

素敵なお花をいただきました。



## 6月の行事予定

日	曜	学校行事等
1	木	安全点検日 児童理解の会 4~6年プログラミングについて学ぶ
2	金	
3	土	1年生親子会
4	日	
5	月	直っ子オリンピック
6	火	全校朝会
7	水	スクールシアター
8	木	かたつむりさん
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	交通安全街頭指導
13	火	計画訪問A(5限まで)
14	水	
15	木	
16	金	5年生施設めぐり
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	児童集会 クラブ
21	水	
22	木	かたつむりさん 5・6年海ごみラボさんから学ぶ
23	金	授業参観 PTA専門委員会
24	土	
25	日	
26	月	交通安全街頭指導 集金振替日
27	火	クリーンクリーン活動 児童集会 職員会議
28	水	委員会
29	木	児童理解の会 3年施設めぐり
30	金	

※予定は変更になる場合があります。